



三木市記者発表資料 (令和6年12月10日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
教育振興部 学校教育課	課長 山口正明 (内線 3520)	教職員係	0794-82-2000 (内線 3526)

タイトル																				
「地域クラブに関するアンケート」の結果を公表 ～ アンケート結果及び概要 ～																				
本件のポイント																				
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは令和4年度に引き続き、2回目の実施。 ・令和9年12月末をもって全ての部活動が終了し、地域クラブ活動へ展開していくことを見据え、子どもや保護者の思い、考えを大切にしながら、今後の取組を進めていくために実施。 																				
説明文																				
<p>1 アンケート調査の目的 地域クラブに関する児童・生徒、保護者の思いや考えを把握し、今後の本市における地域クラブ活動の展開に役立てる。</p> <p>2 調査対象</p> <table> <tr> <td>(1) 小学校 5、6年</td> <td>1,160 人</td> </tr> <tr> <td>(2) 中学校 1、2年</td> <td>1,159 人</td> </tr> <tr> <td>(3) 小学校 5、6年保護者</td> <td>1,746 人</td> </tr> <tr> <td>(4) 中学校 1、2年保護者</td> <td>1,575 人</td> </tr> </table> <p>3 調査方法 インターネット調査（教育委員会作成のアンケートフォームに入力して回答する形式）</p> <p>4 実施期間 令和6年11月1日～令和6年11月24日</p> <p>5 調査の回答状況</p> <table> <tr> <td>(1) 小学校 5、6年</td> <td>1,160 人中、1,024 人が回答</td> <td>(回答率 88.3%)</td> </tr> <tr> <td>(2) 中学校 1、2年</td> <td>1,159 人中、928 人が回答</td> <td>(回答率 80.1%)</td> </tr> <tr> <td>(3) 小学校 5、6年保護者</td> <td>1,746 人中、821 人が回答</td> <td>(回答率 47.0%)</td> </tr> <tr> <td>(4) 中学校 1、2年保護者</td> <td>1,575 人中、768 人が回答</td> <td>(回答率 48.8%)</td> </tr> </table> <p>6 調査結果の概要</p> <p>(1) 児童・生徒の回答から ア 参加意向 小中学校の児童・生徒の 65～75%が地域クラブへの参加を希望しており、特に「学校や学校近くの施設で活動できる」ことが条件となっている場合が多い。活動場所の確保が重要な課題として挙げられる。</p>	(1) 小学校 5、6年	1,160 人	(2) 中学校 1、2年	1,159 人	(3) 小学校 5、6年保護者	1,746 人	(4) 中学校 1、2年保護者	1,575 人	(1) 小学校 5、6年	1,160 人中、1,024 人が回答	(回答率 88.3%)	(2) 中学校 1、2年	1,159 人中、928 人が回答	(回答率 80.1%)	(3) 小学校 5、6年保護者	1,746 人中、821 人が回答	(回答率 47.0%)	(4) 中学校 1、2年保護者	1,575 人中、768 人が回答	(回答率 48.8%)
(1) 小学校 5、6年	1,160 人																			
(2) 中学校 1、2年	1,159 人																			
(3) 小学校 5、6年保護者	1,746 人																			
(4) 中学校 1、2年保護者	1,575 人																			
(1) 小学校 5、6年	1,160 人中、1,024 人が回答	(回答率 88.3%)																		
(2) 中学校 1、2年	1,159 人中、928 人が回答	(回答率 80.1%)																		
(3) 小学校 5、6年保護者	1,746 人中、821 人が回答	(回答率 47.0%)																		
(4) 中学校 1、2年保護者	1,575 人中、768 人が回答	(回答率 48.8%)																		



イ 希望種目

多岐にわたるため、幅広い種目で地域クラブを設立する準備が求められる。

小学生の希望上位種目	中学生の希望上位種目
① バスケットボール	① ソフトテニス
② ソフトテニス	② 陸上競技
③ 美術	③ バレーボール
④ バレーボール	④ バスケットボール
⑤ 陸上競技	⑤ サッカー

ウ 活動の目的

「楽しみたい」「技能を身に付けたい」「勝利や賞を目指したい」がそれぞれ約30%で分散しており、指導者に多様なニーズに対応できる指導を促す必要がある。また、勝利至上主義を避けることも重要である。

エ 活動日数

(ア) 小学生:週2日又は週3日の希望が多い。

(イ) 中学生:週3~5日の希望が多い。

※中学生の活動日数が多いのは、部活動経験が影響していると考えられる。

オ 今後の対応策

- ・活動場所の確保を優先する。
- ・幅広い種目に対応できるよう準備を進める。
- ・指導者への研修や情報提供を通じ、多様な目的やニーズを尊重する指導を推進する。
- ・小中学生のニーズに応じた柔軟な活動日程とする。

(2) 保護者の回答から

ア 活動日数

(ア) 小学生保護者:週1~3日が多い。

(イ) 中学生保護者:週3~5日が多い。

この違いは、部活動経験の有無が、放課後の過ごし方に対するイメージの違いを生んでいると考えられる。

指導者には、多様な考え方があることを周知する必要がある。

イ 活動の目的

児童生徒よりも保護者のほうが「勝つこと」に重点を置いていない傾向がある。ただし、どの項目も一定の支持があるため、勝利至上主義に偏らない指導を心掛ける必要がある。

ウ 保護者の期待

「交流の増加」「専門的な指導」「個々に合った活動」「多様な活動参加」の全てが多く支持されている。

これに応えるためには、指導者を確保し、多くの地域クラブを設立する準備を進める必要がある。

エ 懸念点

- ・活動場所への送迎
- ・金額面での負担

オ 今後の対応策

内容に柔軟性を持たせ、指導者への周知徹底を図りながら、地域クラブの設立・運営に必要な環境整備を進める。

7 ホームページ

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/61/76288.html>



**本案件は次の SDGs 目標
に関連します。**

